



SCB

ニュース&トピックス

No.2025-07

(2025. 4. 14)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所
上席主任研究員 刀禰 和之
研究員 森川 友理
03-5202-7671
s1000790@facetoface.ne.jp

信用金庫の本部機能の移転動向

2024
プランニング

ポイント

- 市場環境の急激な変化を受け、本部機能を本店所在地から距離の離れた都市部などに移転する信用金庫が少しずつ出てきた。
- 具体的なタイミングとして本店・本部の建替えに合わせて実施する研修受講金庫があり、その際は全面的な本部移転ではなく、一部移転のケースもみられた。
- 取組時の検討課題は、①将来を見据えた冷静な意思決定、②地域や職員への丁寧な説明、③IT・DXのフル活用などとなる。
- 研修受講金庫の取組事例をみると、新卒採用や金庫営業力の強化の観点から、本部機能の一部を好立地に移転する信用金庫があった。

(注) 当研究所は、信用金庫の持続可能なビジネスモデル等について信用金庫役職員と検討する「経営戦略プランニング研修(2024年度)」を実施した。本稿は、当研修の意見交換等で得た情報をもとに作成している。

1. 本部機能の移転

わが国では人口の減少と少子高齢化を背景に、地域経済の急速な衰退が進んでいる。こうした状況下、地域密着経営の信用金庫が経営を持続させるためには、地域経済の変化に応じた柔軟な意思決定が不可欠と言える。

その一手法として、本部機能を本店所在地ではなく県庁所在地などの好立地に移転する信用金庫が少しずつ出てきた。好立地への移転により、新卒採用へのプラス効果や金庫営業力の強化などが期待される。10年後20年後の市場環境を素直に予想すれば、好立地への移転は不可欠だと考えられる。ただし研修受講金庫の多くが本部機能の移転決断の困難さを訴えており、今後も本部機能の移転は限定的な事例に留まると予想される。

(図表1) 本部機能の移転のメリット・デメリット

メリット (前向きな意見)	デメリット (消極的な意見)
・好立地に本部機能を移転した方が、新卒採用や情報収集に役立つ。 ・人口の多い(資金需要の見込める)地域に経営資源を再配置するのは自然の流れ。 ・将来の再編時の中核店舗になり得るので、好立地に移転しておいた方が無難である。 ・将来的には本店の移転も想定されるので、先ずは本部を移転しておく。	・地域金融機関として地元を捨てるとの批判を受けやすい。 ・本部職員の通勤時間の増加などにより、本部職員の不満が高まる恐れがある。 ・本店と本部の建物を分けると、何かと業務の非効率につながる。 ・特に本部機能を分散した場合、二重投資になってしまう。

(備考) 図表1・2ともに信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 移転検討のタイミング

信用金庫の本店・本部は 40 年～50 年に一度、建替えの時期が到来するとされる。そのため本店・本部の建替えや大規模修繕に合わせて本部機能の移転を検討俎上に載せるのが一般的だと想像される。なお検討の結果、本部機能の全てを移転するのではなく、一部を移転するのも一案である。

3. 取組時の留意点

取組時の検討課題は、①将来を見据えた冷静な意思決定、②地域や職員への丁寧な説明、③ I T ・ D X のフル活用などとなる。地域の将来像を冷静に分析した場合、現在の延長線上で自金庫が持続可能なのかを検討する必要がある。また近年は I T ・ D X が進展しているため、本店・本部間や本部間の情報共有における問題は乏しいと考えられる。

4. 研修受講金庫のコメント

当研究所が主催する「経営戦略プランニング研修（2024 年度）」などの意見交換時に聴取した研修受講金庫の主なコメントは図表 2 のとおりである¹。

（図表 2）研修受講金庫のコメント

（実施金庫）

- 当金庫は本店・本部の建替えに合わせて本部を隣接する市に移転した。今後の地域の発展を考えると本部機能の移転は正しい決断だったと思う。
- 当金庫は本部機能の一部を県庁所在地に移転した。交通アクセスも良く、新規採用や職員研修などを考えると移転のメリットは大きい。
- 当金庫は本部機能のうち企画部門や営業推進部門などを都市部に移転した。本部機能が 2 つに分かれるが、D X が進んだので情報共有などで問題ないとの判断である。
- 過去の合併により複数の建物に本部機能を有するが、本部の建物はどれも老朽化している。機能の集約に合わせて別の都市へ本部を移転することも検討している。

（未実施金庫）

- 当金庫は本店・本部の建替え時に本部機能の移転を検討したが、見送った経緯がある。県庁所在地には圧倒的シェアの地銀が本店を構えており、敢えて戦うより地元を重視するべきとの判断である。
- 当金庫は本店・本部の建替え時に本部機能の移転を検討したが、地元への配慮などから見送った。将来の人口予想を考えると今回が最後のチャンスだったと思われる。

（備考）過去レポートの再掲あり

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断でお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

¹ 信用金庫のコメント等は研修受講者の個人的な意見・感想を含むものであり、受講金庫の正式なコメントではない。そのため事例の記載にあたっては信用金庫名が特定できないように修正してある（個別信用金庫名や詳細資料の提供依頼にはお応えしていません）。

経営戦略プランニング研修（2024 年度）

関連レポートのご案内

企画

このほかにも、
信用金庫経営に関する様々な情報を発信していますので、
当金庫 HP からご覧ください！

当研究所 HP トップ : <https://www.scbri.jp/>

関連レポートは
こちら



No.	発行日	タイトル
2024-114	2024/12/27	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-10） —店舗の建替え計画等「事前課題の集計結果」—
2024-115	2024/12/27	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-11） —営業店の標準化状況「事前課題の集計結果」—
2024-125	2025/1/14	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-16） —営業店事務の集中化状況—
2024-126	2025/1/14	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-17） —各種システムの導入状況—
2024-133	2025/1/20	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-21） —相続手続きの集中化策—
2024-134	2025/1/20	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-22） —庫内会議改革への取組み—
2024-155	2025/2/28	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-27） —規模縮小の容認への考え方—
2024-178	2025/3/25	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-37） —営業店適正人員の産出手法—
2024-179	2025/3/25	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-38） —少人数店舗運営に向けた工夫等—
2024-182	2025/3/26	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-39） —本部組織改革への取組み—
2024-183	2025/3/26	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-40） —本部組織のマルチタスク化への取組み—
2024-184	2025/3/26	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-41） —本部業務の可視化（定量化）策—